

第 2 次船橋市文化振興基本方針 個別事業評価シート

事業名	令和 5 年度郷土資料館主催事業「展示事業・教育普及事業」				
担当課	郷土資料館	担当者	小澤	連絡先	465-9680

第2次基本方針における事業の位置付け

最も該当する基本目標	IV活かし伝える
最も該当する施策	IV活かし伝える 施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実
関連目標・施策	IV活かし伝える 施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築

事業の概要

開催年度	令和 5 年度		
開催経緯	「ふるさと船橋」への思いを育む生涯学習施設として、船橋市に関連する考古・歴史・民俗等の資料についての調査・研究・保存・活用を図り、市民の学習・文化活動の推進及び支援に努めるための展示事業及び教育普及事業。		
事業目的	・船橋の歴史や文化について、わかりやすく市民に伝えとともに、利用者や地域住民の多様なニーズに沿った展示及び教育普及事業の開催。 ・学芸員が持つ知見やスキルを十分に活用し、展示活動及び教育普及活動を実施していく。 ・学校教育機関と連携した事業を実施し、学習内容に即した資料を提供することにより、児童生徒の学習活動を支援する。		
定性目標	事業計画に基づく当館での事業を遂行すると共に、他機関からの事業協力にも積極的に参加する。		
定量目標	入場者数（館内及び館外 S L 観覧）30,000人、教育普及活動参加者1,500人		
対象	船橋市民		
事業内容	・常設展示…船橋の歴史 ・屋外展示…蒸気機関車D51 125号機の展示（土・日・祝日は運転席を公開） ・企画展示…「私たちのまなびや」「くらしの道具展」「1万年前のタイムカプセル―国史跡 取掛西貝塚―」「早慶戦の大乱闘 リング事件から90年」（吉澤野球資料展示室事業）の計4回の展示を開催 ・出張展示…「吉澤野球資料」を継続して船橋アリーナにて展示するほか、西図書館共催「昔のくらし展」など計2回の展示を開催 ・ミニ展示・・・館内3か所にて時節にあった展示を開催 ・古文書講座（初級・中級：4月を除く各月2回,ゼミ：4月を除く各月1回） ※当館以外にも市内公民館（松が丘、北部）を会場とした古文書講座を計5回開催 ・講座・講演会等…地域史講座・文化講演会・スポーツ講演会・史料整理ボランティア養成講座 ・企画展及び所蔵資料に関連したワークショップの開催 ・YouTube動画による情報発信 ・博学連携事業（授業への支援協力）…学校授業等への支援協力（民俗資料・写真パネル・市内遺跡の出土品の貸し出し等）、教育課程に基づく博物館見学		
実施主体	市	市との関わり	主催
情報発信	■ 広報ふなばし ☐ Facebook	■ HP ☐ X	■ チラシ ☐ その他（ ） ■ ポスター

経年

年度	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (予算)
事業費＝決算額	1,690,475	1,858,578	1,161,739	1,215,278	1,511,000
市予算	1,690,475	1,858,578	1,161,739	1,215,278	1,511,000
補助金・協賛金等					
その他（ ）					
人工（常勤職員）					
人工（会計年度任用職員）					
その他人工（ ）					
定量目標値	35,000人/2,350人	25,000人/300人	27,000人/800人	30,000人/1,500人	30,000人/3,500人
定量目標値の設定根拠	前々年度の実績より設定	過去3年の実績よりコロナ禍による外出自粛を考慮し設定	過去3年の実績よりコロナ禍による外出自粛を考慮し設定	過去3年の実績よりコロナ禍による外出自粛を考慮し設定	過去3年の実績より設定
定量実績値	13,255人/297人	26,660人/734人	29,317人/1,428人	25,095人/3,357人	
【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇%	入館者（ＳＬ含む） 13,255人 事業参加者 297人	入館者（ＳＬ含む） 26,660人 事業参加者 734人	入館者（ＳＬ含む） 29,317人 事業参加者 1,428人	入館者（ＳＬ含む） 25,095人 事業参加者 3,357人	
事業内容 ※現年度は計画	常設展示 屋外展示:蒸気機関車の展示 企画展示:3回 出張展示:2回 講座・講演会等:文化講演会 教育課程に基づく博物館見学:計2回 博学連携（授業支援）:学校授業等への支援協力（民俗資料・写真パネル）・市内遺跡の出土品の貸出等	常設展示 屋外展示:蒸気機関車の展示 企画展示:3回 出張展示:2回 ミニ展示:6回 講座・講演会等:文化講演会・地域誌講座・古文書講座・歴史散歩 教育課程に基づく博物館見学:計5回 博学連携（授業支援）:学校授業等への支援協力（民俗資料・写真パネル）・市内遺跡の出土品の貸出等	常設展示 屋外展示:蒸気機関車の展示 企画展示:3回 出張展示:2回 ミニ展示:6回 講座・講演会等:古文書講座・地域史講座・文化講演会等 ザイタク船橋調べ隊 史料整理ボランティア養成講座 教育課程に基づく博物館見学 博学連携（授業支援）:学校授業等への支援協力（民俗資料・写真パネル） ・市内遺跡の出土品の貸出等	常設展示 屋外展示:蒸気機関車の展示 企画展示:4回 出張展示:3回 ミニ展示:7回 出張美術展（文化課共催） 講座・講演会等:文化講演会・地域誌講座・スポーツ講演会・古文書講座・歴史散歩・史料整理ボランティア養成講座 ワークショップ 教育課程に基づく博物館見学 博学連携（授業支援）:学校授業等への支援協力・市内遺跡の出土品の貸出等	常設展示 屋外展示:蒸気機関車の展示 企画展示:4回 出張展示:3回 ミニ展示:5回 講座・講演会等:文化講演会・地域誌講座・スポーツ講演会・古文書講座・歴史散歩・史料整理ボランティア養成講座 ワークショップ 教育課程に基づく博物館見学 博学連携（授業支援）:学校授業等への支援協力・市内遺跡の出土品の貸出等
定性目標の実績について 経緯・変遷	平成30年のリニューアル以降、事業実績が上向きになっていたが、令和2年のコロナ禍以降、事業の中止及び縮小を余儀なくされてしまった。令和6年現在は対面形式のワークショップ等の事業が復活しており、また他の社会教育施設や図書館、文化課等との共催にて新規の事業が始まるなど、幅広い事業展開が進みつつある。なお、各事業のアンケート満足度は「非常に良い」「良い」が概ね8割を超える状態を維持できている。				

自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業PR・補足説明等、自由に記入する。)	
--	--

事業評価

評価対象年度	令和5年度
評価実施年度	令和6年度

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

定性評価	評価項目	定性目標の達成度				
		1 □	2 □	3 ■	4 □	5 □
	評価理由	事業計画に基づく事業を遂行できたほか、文化課及び市内社会教育施設等からの相互提案による事業展開が行えた等、館内外での教育普及活動の場が増えたため。				

定量評価	評価項目	定量目標の達成度				
		1 □	2 ■	3 □	4 □	5 □
	評価理由	入場者数が昨年度と比較して若干の減少が見られ、目標には届かなかったため。 夏季の入場者数の減少がみられることから、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し外出や旅行が自由にできるようになったことや、夏場の異常な猛暑による外出制限などが要因であると考えられる。				

文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと (何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと)	課題				
	歴史・民俗に特化した博物館であるため、船橋市内外にとらわれない文化振興事業との関わりや事業参加等の進め方を模索中です。				
	求めたい助言				
	今後、当館の所蔵資料等を活用した「これからの博物館のあり方」について、アドバイスがいただけたら幸いです。				

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案	博物館法改正により、新しい登録博物館の目標として美術館DX、デジタルアーカイブ、文化観光が重視されるようになった。博物館の役割について、市民のための教育施設という従来の考え方と、文化庁が推進する文化施設・観光施設という新しい方向性との間に齟齬がある。文化庁からの観光重視や入館者数による評価の要請に対して、現状の充実した活動で十分だと感じているため、教育施設としての方針を維持しても良いと評価する。 今後、入館者数を増やすなら、所蔵資料だけでなく他の自治体から資料を借りるなどして、より大規模な展示を行うことを提案する。街おこしの役割も意識しつつ、来館者が学びを深められるような展示を目指すべき。展示資料に関連したミュージアムコンサートも企画できると来訪者の増加につながられる。
---------------------------------	--

フォローアップ

今後の対応	
-------	--

対応の結果	
-------	--